

川上村の白ネギ生産者と他地域の白ネギを視察しました

南佐久地域は古くから全国有数のレタスやハクサイ産地ですが、近年は産地の持続的な発展に向けて白ネギやセルリー等、新たな品目の生産にチャレンジする生産者が増加しています。

川上村においても一部の生産者により白ネギ生産の取り組みが始まっていますが、まだまだ栽培年数が短く、戸数が少ないこともあるため地域内に参考とする先輩生産者がいません。

そこで、隣接地域の生産者同士の関係づくりを図ることを目的とし、10月23日に新たに白ネギ生産に取り組んでいる生産者3名が小諸市で大規模に白ネギを生産しているアマリファームの視察を行いました。

優良経営体を視察する中で、自分たちが使用している資材よりも使い勝手が良いものがあること、時間の掛る出荷調整作業について確立された体系を学ぶことができ、「今すぐ自分もこの資材に切り替えよう!」、「来年のために作業方法を見直そう!」といった声があがり、有意義な視察を行うことができました。

今後も産地が持続的に発展していけるよう、白ネギをはじめとした新規品目の普及推進、導入農家への支援を行っていきます。



川上村での白ネギ栽培風景



視察先の代表者との意見交換